

2021/10/19-2

(うと Q 世話し 隠された目的の清算 下) アウフヘーベン書直し

しかし是はコロナ禍以前の自分の問題。

コロナ禍を経験した自分にはそれに加えて新たな問題が上積みされました。

問題がコロナ禍を挟んでの連立二元方程式になってしまったのです。

二元の内の第一、コロナ禍以前の問題は自分のストーリー優先だった点を改め、従業員の生活安定を最優先して「サバイバル日記」主体の生活を止め、経済活動に専念する事で解を得られるかもしれません。

しかし今回積み上がった二元目のコロナ禍経験以降に急浮上した深刻な問題は、

「コロナ禍を招いた主因であるそれ迄の経済活動に単純に復帰する事は、とりもなおさず更に地球環境を破壊する事になるという相反利害関係をどう止揚するのか」

という我々人類存続の可否に関わる超絶難解なものでした。

平たく申せば

「ボス、お遊びは止めて(コロナ禍前の様に)家業一筋に専念して下さい」と発破を掛ければ済むと言う訳には行きそうもないと云う事です。

単純に元の生活に復帰や回帰するだけではどうも済みそうもないと言う事です

「儲けて元気を取り戻す為には活動エネルギーを最大限抑えないといけない」というとんでもなく妙な事態になっている訳です。

「成長するには抑制が必要だ」と是迄の常識概念からすれば無茶苦茶な事を言っている訳です。

「人間が力一杯活動して吐き出すのは二酸化炭素ではなく酸素にしろさい」

位のコペルニクスの転回レベルを要求されているのです。

こんな無茶苦茶な要求をされるのは人類史上我々が初めてでしょう。

彼のネアンデルタール人もアメリカ大陸のコロンブスも蒸気機関のワットも飛行機のライト兄弟もそんな事を言われた事はなかったでしょう。

兎にも角にも我々が初めてなのです。

当然誰も「解」を知らない訳です。

そういう意味では我々は平等な位置に立っているのです。

格差拡大の時代にこの「平等」は何という皮肉でしょう。

しかしそんな評論をしている暇はなさそうです。

将に今の我々にはそんな言葉遊びをしている暇は。

ですが「急がば回れ」にも一理あります。

無責任な評論はノイズでしかありませんが回り道であっても十分な議論(知恵を出し合い磨き合う事)は必要でしょう。

しかしその議論を主導する人達の内心の奥底に潜む「隠された目的」が、意識するしないに拘わらずコロナ禍以前同様「自分の都合」からのものであれば求める「解」は決して見つか

らないでしょう。

代わりに

「成長するためには抑制が必要だ」

という無茶苦茶な要求を達成するには故事に倣い

「成長し伸びる（実る）程、地球に対して頭を垂れる稲穂になる」

が解の傾聴すべき重要なヒントになるかもしれません。

一介の零細企業主が何故こんな事を気にするのかと申せば、

夫々が「隠された目的」をきちんと清算して本来の目的に回帰しなければ

自分の身上にも地球上の人類の行く末にもこの先とんでもない災禍が待ち受けている絵姿がはっきり見て取れるからです。